

平成 24 年度鳥取市市民活動表彰受賞者(7 団体、個人)

(50 音順)

活動者・活動団体	活動内容
明日の湖南を考える会	昭和 4 6 年に発足。昭和 5 5 年より「地域の歴史・文化を探り顕彰する」ことを重点に据え、吉岡 1 号墳の再発掘調査とその後の維持管理をはじめ、町内の歴史的なポイントに標柱、案内板を設置。「温泉誌」の発刊、「俳句の散歩道」の創設、維持活動を継続している。
絵本の読み聞かせ ぞうさんの会	平成 8 年発足後、会員 1 0 名が毎月 1 回、岩倉地区公民館を拠点に、絵本の読み聞かせやおはなし、わらべうた、パネルシアター等を子どもたちに届けている。定期的な保育所訪問や、県外から講師を招き公演を開催するなど子どもの健全育成を図っている。
大村おう穴愛議会	赤波川おう穴群は、その貴重さが認識され、地域住民による奉仕活動が続けられている。本会は、溪流周辺の植栽を契機として平成 1 6 年に結成し、環境の保全を図るため、地域住民約 7 0 名により、毎年 7 月下旬に草刈・ごみ拾いなどの清掃活動を実施している。
河原地区ボランティアリーダー会	平成 1 4 年に地域の教育力を活性化し、子どもたちの奉仕活動や様々な体験活動を行うことを目的に結成。平成 2 0 年より農業体験活動を通して、食の安全性、勤労の大切さ、物を作る喜びを得るなど、子どもたちのいきいきした姿を見守る活動に取り組んでいる。
河原町民俗行事を語る会	民俗行事を体験し、行事に込められた先人の願いや知恵を理解するとともに、地域の子どもたちに伝承し語り継ぐことを目的に昭和 5 5 年に設立。「七草がゆと鳥追い」を再現・伝承して以来、年間数件の行事を再現、伝承し、地域の文化振興に貢献している。
鈴木 啓一	恒例行事である納涼祭（今年 2 5 回）では毎年、地域住民の絆を深める取組みの中心として活動している。また、地区の保全委員長として農道整備や草刈り等に尽力し、地区の生活水準の向上及び環境美化に貢献している。「生態系調査」も実施し、子どもたちへの指導も行っている。
森川 タツ子	戦前から連綿と続く吉岡花湯祭りの踊りの振付を継承され、昭和 4 2 年頃から現在まで指導をいただいている。踊りも昔の振付のまま現在まで継承され、近年では、湖南地区で開催する湖南祭りの為に踊りを考案され、その振付等地域の文化の振興に貢献している。